

カギをなくした生徒の気持ちがよくわかりました

校 長 武井 正明

今日は本当に参った。

先日、親の気持ちを久々に思い出したと書いたが、今日は自転車のカギを紛失した生徒の気持ちが、よくわかった。

朝出掛けに車のキーを入れたままロックしてしまった。

絶妙の、これ以上ない一瞬のタイミングで、総て閉じ込められてしまった。

これが生徒だったら、私はこう言う。

「大丈夫だいじょうぶ。落ち着いて。まず出来ることを確認していきましょう」と。

しかしこれが当事者となると、そんな落ち着いてなどいられないんだな。

スマホは車の中。財布も家のカギも。頼みの妻も仕事。しかも肝腎のスペアキーさえあればいいのに、それがどこにあるのかがわからない。全く動けなくなり、途方に暮れた。

先日の1年男子生徒の心境、よくわかった。自分の情けなさとかバカさ加減とに腹が立って、涙が出てくるのもわかるわ…。泣きたかった。

地元自動車業者もカギの対応はやっていないと聞き、いよいよ絶望した。吉中に電話して別の業者に連絡がついて、やっと電話を待つ段階まで漕ぎつけた。

いったん落ち着くと人間とは現金なものだ。呑気にテレビをつける。すると、これも絶好のタイミングで佐々木朗希がリリーフ登板するじゃないか。もう運命的なものを感じたね。それも1イニングを3人で抑えと、何と続投、3イニングを完璧に封じ込んだ。もうテレビ前でガッツポーズよ。今日はこれを見るために、神様が仕組んでくれたのだ。

全く我ながら、自分に都合よく考える人間である。

ドジャースが劇的な延長サヨナラ勝ちを決めた時に、業者さんのピンポンが鳴った。

来てくれた方は26歳男性イケメン整備士さん。

今の自動車のカギの解錠は、簡単ではないそうだ。1時間たっぷりかけて、粘り強く解錠してくださった。本当にありがたかった。これで午後は仕事になる。

全く自分ひとりでは何もできないことを思い知らされた半日だった。

今後自転車のカギをなくした生徒に会ったら、きっと今までとは自分の気持ちが違ってくるだろうな。

先日はパンク、そして今朝のキートラブル。これは神様の「運転も十分気をつけなさいよ」というご示唆なのだと受け取ってハンドルを握ろうと思う。